

学科学年	D2	科目分類	工学技術セミナー Engineering Technology	講義	必修	通年	2単位	学習教育目標	1	担当	電子制御工学科全 教員 All staff
概要	工学技術者として学習する動機付けを行うことを本授業の目的とする。前期は、主として本科教員がそれぞれの専門や担当科目に関連する講義を行う。併せて工学基礎としての数学、物理学の役割について講義する。後期は技術者倫理を学ぶとともに、地元企業の技術者等を講師に招き、企業現場でのものづくりの実際や技術者になるための心構えなどの話を交えながら、ものづくりの文化と工学について見識を広める。										
科目目標 (到達目標)	1. 技術者になることの自覚を深め、数学、物理学や専門授業についての学習意欲を高めることができる。2. 教員や講師の話を集中して聞き、メモを取り、講義内容を要約することができる。3. 技術者倫理について、理解することができる。										
教科書 器材等	なし										
評価の基準と 方法	1. 課題レポート、講義要約、感想文を作成する。(100%)										
関連科目	数学, 物理学, 工学実験										
授業計画											
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)									
第1回	ガイダンス：授業の目的、概要の説明(森井)										
第2回	今はどんな時代か(森井)										
第3回	技術者とは何か(森井)										
第4回	ロボットの未来(澤)										
第5回	東海・倒壊ゼロ(舟田)										
第6回	流れ星と通信(長澤)										
第7回	電子材料の世界(遠山)										
第8回	ロボットと画像処理(川上)										
第9回	エネルギー技術(大原)										
第10回	振動工学の世界(鄭)										
第11回	現象の数理モデル(江上)										
第12回	工学基礎としての数学、物理学(森井)										
第13回	工学と数学										
第14回	工学と数学										
第15回	工学と物理学										
第16回	工学と物理学										
第17回	組込みシステムの世界(牛丸)										
第18回	流れの本質を探る～実験流体力学における計測技術について～(大庭) 企業										
第19回	技術者倫理										
第20回	技術者倫理										
第21回	技術者倫理										
第22回	技術者倫理										
第23回	ものづくりの文化と工学										
第24回	ものづくりの文化と工学										
第25回	ものづくりの文化と工学										
第26回	ものづくりの文化と工学										
第27回	ものづくりの文化と工学										
第28回	ものづくりの文化と工学										
第29回	ものづくりの文化と工学										
第30回	ものづくりの文化と工学										
オフィス アワー	前期：授業実施の週、16:30～18:00。各回の担当教員の研究室で行う。										
授業アンケート への対応	授業の進行方法について、整理して理解し易いように工夫する。										
備考											
更新履歴	20090327 新規、20090413 授業計画改定										
